

関西言語学会
第37回大会プログラム

2012年6月2日（土）・3日（日）

甲南女子大学

658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

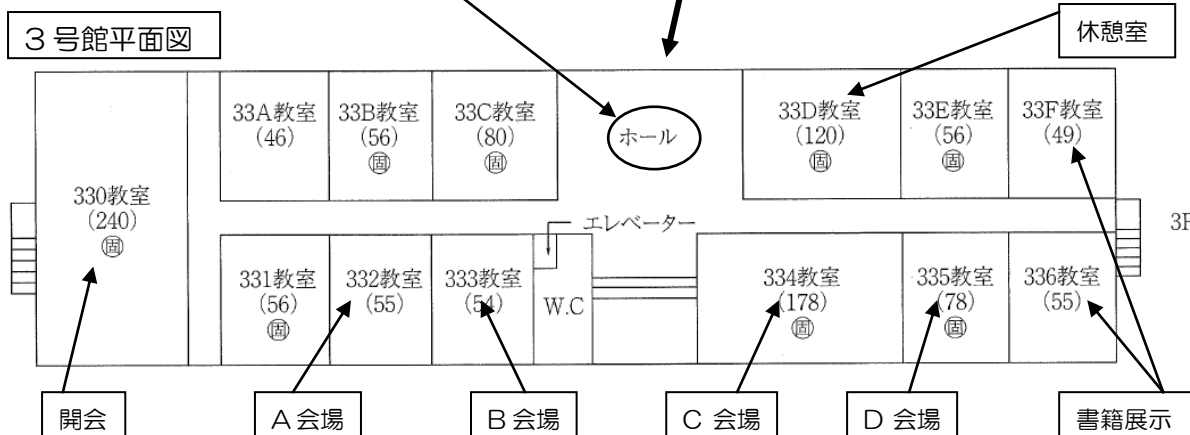
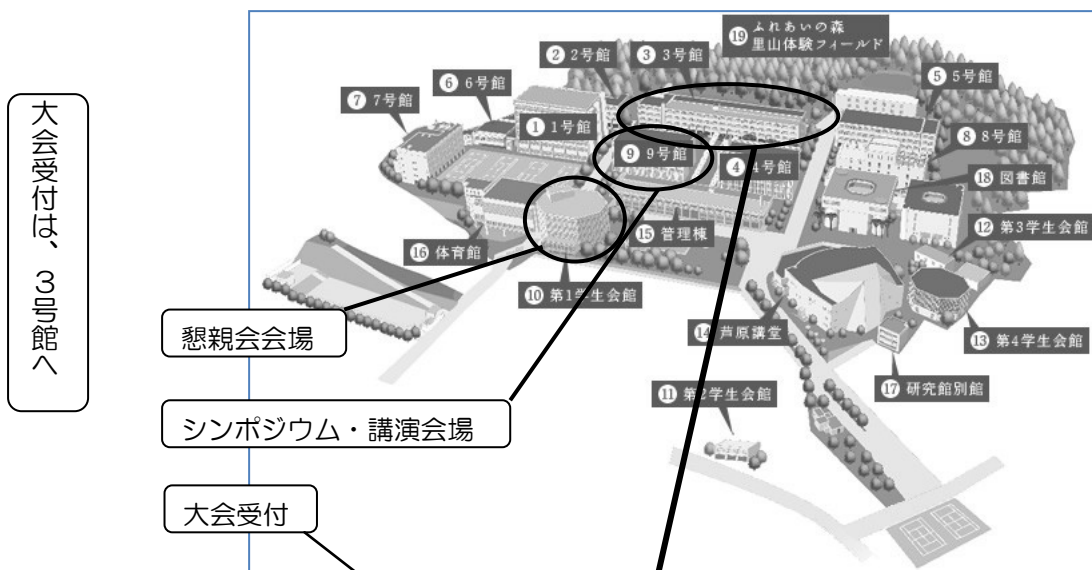
関西言語学会事務局

<http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/>

651-2187 兵庫県神戸市西区学園東町 9-1

神戸市外国語大学

スケジュールと会場案内



6月2日 (土)	10:00-12:00	ワークショップ	C-D会場	(3号館 334-5教室)
	12:00-	受付開始	3号館 3階ホール	
	13:00-	開会の辞	3号館 330教室	
	13:15-14:30	研究発表 I	A-D会場	(3号館 332-5教室)
	14:50-17:50	シンポジウム	9号館 912教室	
	18:00-20:00	懇親会	第1学生会館 3階 「ドンク」	

6月3日 (日)	9:30-	受付開始	3号館 3階ホール	
	10:00-11:55	研究発表 II	A-D会場	(3号館 332-5教室)
	13:10-14:25	研究発表 III	A-D会場	(3号館 332-5教室)
	14:45-16:15	招待講演	9号館 912教室	
	16:15-	総会・閉会の辞	9号館 912教室	

□ 大会参加について

- ・ 事前に会員登録をお願いします。大会前10日以内に会費納入された方は振替受領書をお持ち下さい。会費納入が確認できない場合、当日会費のお支払いをお願いし、後日確認後返金いたします。会員登録については学会ウェブサイトをご覧ください。なお、学会ウェブサイトは <http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/> に移転しました。
- ・ 会員は無料で参加できます（会員登録も当日行っております。）
- ・ 当日会員（一般2,000円、学生1,000円）の制度を本年度よりはじめます。
- ・ 受付で会員登録を確認したうえで、名札をお渡しします。会場では名札を着用ください。名札のない方は入場できません。

□ 懇親会

- ・ 第1日のシンポジウム終了後、第1学生会館で懇親会を開きます。発表者の方も、一般会員の方も、気軽にご参加ください。（会費：一般4,000円、学生3,000円）

□ 昼食

- ・ 2日(土)、3日(日)ともに学生会館の営業はありません。
- ・ また、大学周辺には飲食店やコンビニがございません。



昼食は、持参ください。

□ 書籍展示

- ・ 両日とも3号館3階で書籍の展示・販売を行っています。学会に協力いただいている本屋さんへの応援よろしく申し上げます。会場は、33Fおよび336教室です。前ページの「会場案内」をご覧ください。

□ その他

- ・ 学内（周辺）に来場者用の駐車スペースはございません。（やむをえず自動車でご入構の必要ある方は、5月20日までに事務局にご連絡下さい。）

大会実行委員	林 博司(委員長) 有田 節子	有村 兼彬	上田 功	大庭 幸男
	川越 いつえ 菊田 千春	金水 敏	定延 利之	佐野 まさき
	嶋村 誠 龍城 正明	谷口 一美	鄭 聖汝	鍋島 弘治朗
	西光 義弘 藤田 耕司	益岡 隆志	松本 曜	山梨 正明
	吉村 公宏			
開催校委員	林 礼子(委員長) 梅原 大輔	湯淺 章子	月足 亜由美	
事務局	山口 治彦 本多 啓	那須 紀夫		

第37回大会プログラム

第1日：6月2日（土）

ワークショップ [3号館 3階] 10:00-12:00

C会場（334教室）

トピック・フォーカスの諸相と統語理論 代表者：中村 浩一郎（名桜大学）
VP内のフォーカス、トピック句について 中村 浩一郎（名桜大学）
トピック・フォーカスと主語位置 依田 悠介（大阪大学大学院）
焦点助詞の複数共起とその統語論的帰結 田中 秀治（大阪大学大学院）

D会場（335教室）

甌島方言から古典語を考える：方言研究との接点を求めて 代表者：藤本 真理子（大阪大学特任研究員）
指示語 藤本 真理子（大阪大学特任研究員）
授与動詞 森 勇太（関西大学）
条件表現 岩田 美穂（大阪大学特任研究員）
指定討論者：高木 千恵（大阪大学）

大会受付開始 [3号館 3階] 12:00

開会の辞 [3号館 3階 330教室] 13:00
関西言語学会 会長 西光 義弘

研究発表 I [3号館 3階] 13:15-14:30

A会場 332教室 司会：金水 敏（大阪大学）
1（13:15-13:50）数量形容詞によって分析的に示される数表現に関する一考察：後期中英語に
おける al の用法を中心に 花岡 慧（京都大学大学院生）
2（13:55-14:30）琉球諸語と日本語の史的関係 [招聘発表]
トマ・ペラルール（Thomas Pellard）（CRLAO/EHESS/CNRS/INALCO）

B 会場 333 教室

司会：松本 曜（神戸大学）

- 1 (13:15-13:50) 再帰代名詞を伴う二重目的語構文について
長野 亜矢子（佛教大学非常勤講師）
- 2 (13:55-14:30) Cross-Modal Lexical Decision 法を用いた再帰代名詞「自分自身」のオンライン言語処理に関する研究
祐伯 敦史（立命館大学）・中井 悟（同志社大学）

C 会場 334 教室

司会：吉村 公宏（奈良教育大学）

- 1 (13:15-13:50) 指示詞に関する日中対照研究：「その」と「那（个）」による連動読みについて
杉山 さやか（京都大学大学院生）・劉 羸（京都大学大学院生）
- 2 (13:55-14:30) 日本語モーダル指示詞における意味の多次元性：意味論と語用論のインターフェース
澤田 淳（青山学院大学）・澤田 治（三重大学）

D 会場 335 教室

司会：益岡 隆志（神戸市外国語大学）

- 1 (13:15-13:50) 動作主修飾の「V かけの NP」「V たての NP」
向坂 卓也（北京第二外国語学院／関西学院大学大学院生）
- 2 (13:55-14:30) 集う孤独な人々，集っても孤独な人々：日本語チャット会話におけるターンの結束性について
臼田 泰如（京都大学大学院生）

シンポジウム（国立国語研究所共催） [9 号館 912 教室]14:50-17:50

日本語レキシコン研究の最前線

司会：窪菌 晴夫（国立国語研究所）

レキシコンと音声研究：アクセント研究を中心に
窪菌 晴夫（国立国語研究所）

レキシコンと文法・意味：複合動詞研究のこれから
影山 太郎（国立国語研究所）

レキシコンと言語変化：歴史的観点から見た複合動詞

青木 博史（九州大学／国立国語研究所客員）

第一・第二言語における lexical aspect の習得

白井 恭弘（ピッツバーグ大学／国立国語研究所客員）

懇親会 [第一学生会館 3 階 ドンク]18:00-20:00

（会費一般 4,000 円，学生 3,000 円）

第2日：6月3日（日）

研究発表Ⅱ 10:00-11:55

- A会場 332 教室** 司会：大庭 幸男（大阪大学）
- 3 (10:00-10:35) Multiple Spell-Out and Subject Scrambling in Japanese
辰己 雄太（大阪大学大学院生）
- 4 (10:40-11:15) 時を表す副詞節の解釈の曖昧性に関する統語的分析
前田 晃寿（大阪大学大学院生）
- 5 (11:20-11:55) Depictive secondary predication revisited
浅田 裕子（駒沢女子大学非常勤講師）
- B会場 333 教室** 司会：西光 義弘
- 3 (10:00-10:35) 日本語とシンハラ語の与益構文と受益者の格標示について
宮岸 哲也（安田女子大学／大阪府立大学大学院生）
- 4 (10:40-11:15) フィンランド語における主語標示：属格主語についての考察
多田 哲（京都大学大学院生）
- 5 (11:20-11:55) 指示機能にみられる段階性とその類型論的含意：エスキモー語と英語の対照分析から [招聘発表]
田村 幸誠（滋賀大学）
- C会場 334 教室** 司会：有田 節子（大阪樟蔭大学）
- 3 (10:00-10:35) デキゴト名詞文：記述的枠組みの整備に向けて
久保田 一充（名古屋大学大学院生）
- 4 (10:40-11:15) 「目的」と「原因」を表す「～ために」の意味的共通性
梶川 克哉（名古屋 SKY 日本語学校）
- 5 (11:20-11:55) 「V+ナイ+タメ」・「V+ナイ+ヨウニ」の使い分けについて
戦 慶勝（鹿児島国際大学）
- D会場 335 教室** 司会：鍋島 弘治朗（関西大学）
- 3 (10:00-10:35) 本動詞「しまう」から補助動詞「-しまう」への拡張の動機付け：継起関係に基づく換喩の観点から
張 又華（京都大学大学院）
- 4 (10:40-11:15) フレームに基づく複合動詞の結合制限：「～おとす」「～もらす」「～のがす」を例に
陳 奕廷（神戸大学大学院生）
- 5 (11:20-11:55) 「-がちだ」の認知論的・語用論的分析：「-やすい」との比較から
大江 元貴（筑波大学大学院生）

研究発表Ⅲ 13:10-14:25

A 会場 332 教室 司会：有村 兼彬（甲南大学）

6 (13:10-13:45) 不変化詞 away の意味機能：LCS とクオリア構造による考察

山本 恵子（大阪大学大学院生）

7 (13:50-14:25) 動詞と into 句の相互作用から得られる 2 種類の達成

森藤 庄平（愛知県立大学非常勤講師）

B 会場 333 教室 司会：龍城 正明（同志社大学）

6 (13:10-13:45) トルコ語オノマトペの母音交替に関する制約

菅沼 健太郎（九州大学大学院生）

7 (13:50-14:25) Good Predictions, Wrong Predictions, No Predictions [招聘発表]

三間 英樹（神戸市外国語大学）

C 会場 334 教室 司会：佐野 まさき（同志社大学）

6 (13:10-13:45) 間接受動文・所有受動文の派生に関する提案 [招聘発表]

本村 光江（大阪経済大学）

7 (13:50-14:25) 日本語の主語尊敬構文について

金 重逸（筑波大学大学院生）

D 会場 335 教室 司会：菊田 千春（同志社大学）

6 (13:10-13:45) 日本語の接尾辞「?先」と「?元」の意味的な対応関係について

久保圭（京都大学大学院生）・田口 慎也（京都大学大学院生）

7 (13:50-14:25) 「赤いりんご」と「りんごの赤いの」:線条的類像性の観点から

野呂 健一（高田短期大学）

招待講演 [9号館 912 教室] 14:45-16:15

司会：西光 義弘

言語習得における音象徴の役割

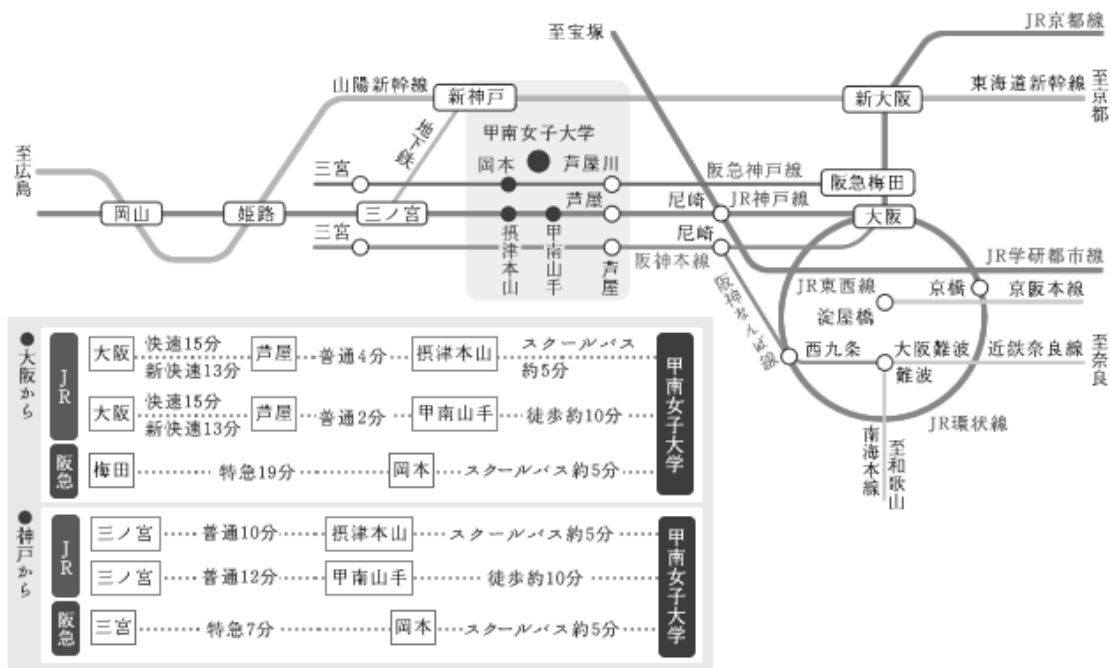
今井 むつみ（慶應義塾大学）

総会 [9号館 912教室] 16:15

閉会の辞 [9号館 912教室]16:45

関西言語学会 副会長 龍城 正明

甲南女子大学へのアクセス




甲南女子大学 HP (<http://www.konan-wu.ac.jp/access/>) より転載

- 大会当日、スクールバスは利用できません。
- JR 甲南山手駅または阪急岡本駅より徒歩か、タクシー利用となります。

JR 甲南山手駅からの案内図



- 駅から大学までの上りは途中に急な坂道や階段があります。
- 上りは約 15 分、下りは約 10 分。

 昼食は、持参ください。